

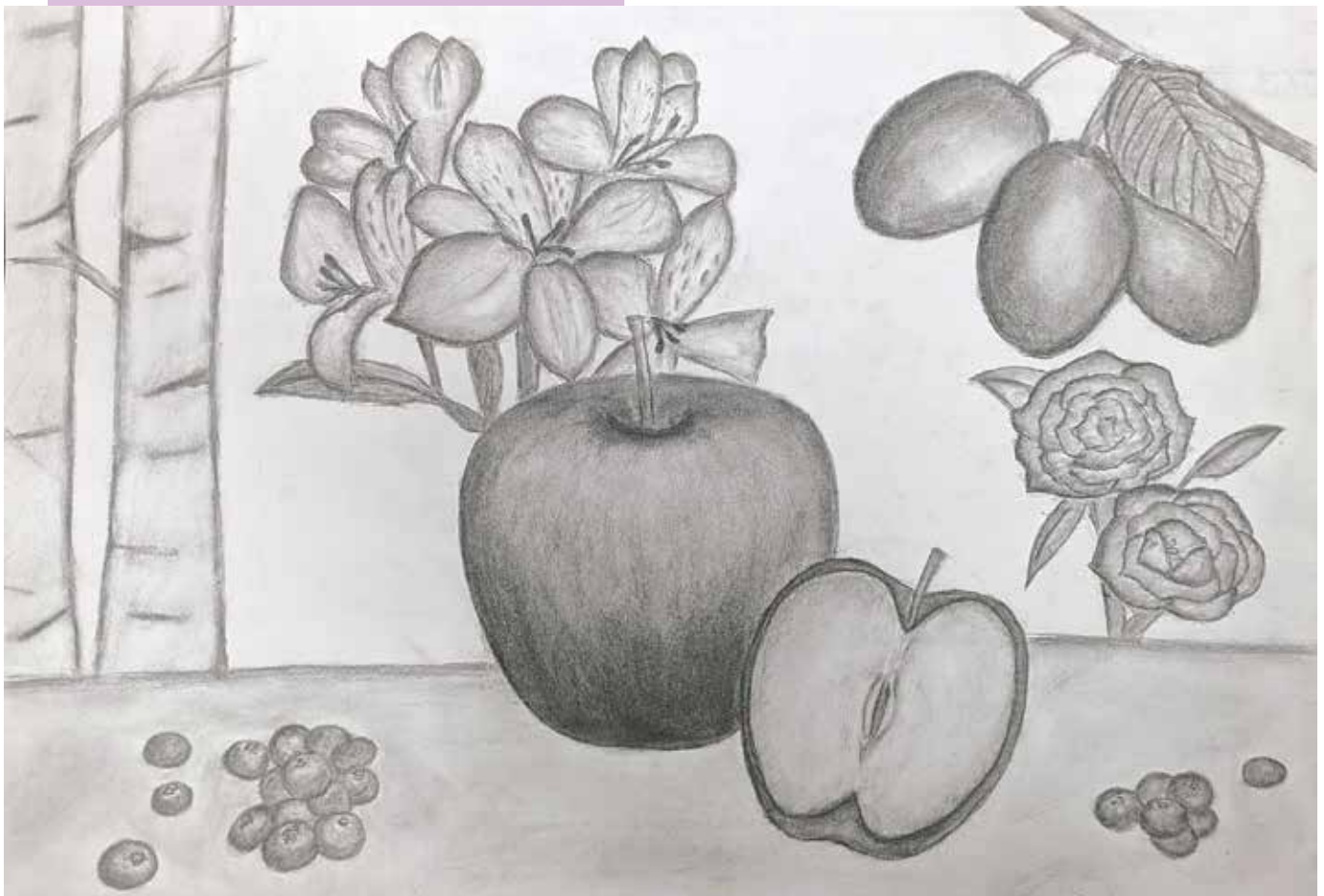


令和7年1月23日  
第79号

# さくほ

2025 ①

議会だより



## 令和5年度3月 佐久穂中学校9年生美術作品 「私の出身地はね」

ますの りん

**増野 凜さん**（小諸商業高等学校1年生）

佐久穂町といえば、私の大好きな果物たちです。今回の作品ではデッサンに挑戦しました。描き始めると、スペースが空いてしまったので、佐久穂の代表的な植物である白樺・アルストロメリア・トルコキキョウを描き加えました。この作品を描いたのも、もう1年も前のことで、改めて時間が経つのが早いと感じます。今、私は小諸商業高校で、簿記の資格取得を目指して勉強をしています。特に、情報処理の勉強などは、具体的な活用方法も実感できるので楽しく学んでいます。

## 12月定例会

議長新年のあいさつ ..... P2

## 一般質問 7名

・道の駅の総事業費を早急に公開すべきではないか 他 ..... P4~9

発行：佐久穂町議会

議長：石井 正行

編集：議会広報特別委員会

〒384-0697

長野県南佐久郡佐久穂町大字高野町569

TEL.0267-86-2556

印刷：キクハラインク有限公司

さくほ議会  
Facebookもチェック  
さくほ議会



いいね  
押してね





明けましておめでとうございます。

町民の皆様には希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。年頭にあたり、佐久穂町議会を代表いたしまして謹んで新春のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には平素から町議会に対しまして、温かいご支援とご理解を賜り、議員一同深くお礼申し上げます。

私は、議長というその職責の重さを認識しつつ、公平公正な議会運営を目指して、微力ではございますが、議会基本条例に基づき議会改革に誠心誠意努めてまいりました。あらためて、町民の皆さまと議員各位のご指導とご協力に対して、感謝とお礼を申し上げます。

昨年の町内を振り返りますと、「道の駅八千穂高原」が、9月27日にグランドオープンしました。この事業は、道路利用者への利便性の提供とともに地域の振興に寄与することを目的としています。地域振興につきましては、開業に向け組織づくりをはじめ多くの協議が必要であると推測され、町議会といたしましては地域の発展のため、また、町民の皆さまの意見要望をお聞きし、効率的で時代に即した予算執行と町民の皆さまが求める必要な施設運用の実行のため道の駅事業特別委員会を設置し、町に「道の駅八千穂高原整備事業に係る要望書」を提出し協議してまいりました。開業後は、来場者数、売り上げともに予想を大きく上回っているとのことです。この施設を核として多くの観光客が訪れ、町内を回遊されることで、町が活気づくきっかけとなればと大いに期待しているところであります。

町議会において今期4年間を振り返れば、議会改革特別委員会を再開し、議会改革推進チーム（6チーム）による事業を実施推進しました。

- 町民の意見等を的確に把握するために、交流の場を作り、行政全般への関心を高める議会活動の定例化として、議会報告会（3回）、町民との意見交換会（3回）、おでかけ議会（15団体）を実施しました。
- 台風19号を教訓に、災害に直面した場合に議員全員が統一性を持った行動がとれるよう、災害対応として佐久穂町議会BCP（業務継続計画）を作成しました。
- 活力ある議会として更に活性化を図り、議員のなり手不足問題等への対策を考慮し、調査・意見交換を行い、必要な議員定数見直し（14人→12人）、議員報酬見直し（¥185,000→¥218,000）を行いました。（令和7年4月1日施行）
- タブレット導入により議会のICT化推進の取り組みとして、オンライン会議および研修会の実施、ペーパーレス化の推進を行いました。

このような取り組みを行うことにより、議会活動が充実してきたと思われます。私たち議員14人の任期は4月16日までですが、引き続き町民の皆様のご期待に応えられるよう全力で議会活動に取り組んでまいります。皆様には引き続き議会に対しまして、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

尚、4月13日に行われる佐久穂町議会議員一般選挙において、各議員の進退予定を掲載しました。（下記一覧参照）これは当町の議員のなり手不足の解消のひとつとして、現職の進退を早めに町民に周知することで新人の出馬を促すことを目的にしています。議員全員の進退表明は木祖村、喬木村、大桑村でも行っています。

結びにあたり、新しい年が佐久穂町にとって明るく希望に満ちた年となることを願いたしますとともに、町民の皆様にとりまして、幸せで実り多い年となりますこと、議員一同心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

### 議員の進退一覧表

|    |                  |       |        |               |       |
|----|------------------|-------|--------|---------------|-------|
| 議員 | 須田芳明             | 高見澤敏幸 | 竹内達朗   | 高見澤利博         | 佐々木信幸 |
| 進退 | 責務完遂。<br>出馬しない予定 | 出馬予定  | 前向きに検討 | 諸事情により<br>調整中 | 出馬予定  |
| 議員 | 西部元和             | 島崎規子  | 石井正行   | 出浦修身          | 小宮山雅則 |
| 進退 | 出馬予定             | 出馬しない | 出馬予定   | 出馬しない予定       | 出馬しない |

※この進退表明は、あくまでも令和7年1月時点のものです。※次回の佐久穂町議会議員の定数は12名となります。  
※進退表明については、許可のとれた議員（10名）のみの掲載となります。



### 【道の駅について】

9月27日にグランドオープンし、開業から1カ月余りで来場者数は約11万人を超え、直売所とコンビニで売り上げが1億円を超えているようです。今後の推移も注視していきます。

### 【栄橋の国登録有形文化財について】

昭和13年に完成した栄橋ですが、この度長野県に格別なご尽力をいただき、佐久穂町教育長名で文部科学大臣に上申したところ、国の文化審議会が国登録有形文化財にするように答申しました。登録されれば、町内では初めての国登録有形文化財となります。

### 【八千穂高原スキー場40周年について】

町の直営施設を経て令和元年以降アドバンス㈱に譲渡され、コロナ禍にもめげずに経験、知力、機転を発揮し来場者の増加につなげてもらいました。今回スキー場開業40年という節目を迎えることができました。

### 【森林（もり）の里親協定について】

今年3月21日に締結された「森林（もり）の里親協定」に基づき、10月3日にセイコーウオッチ㈱の関係者10名以上の皆様を八千穂高原にお迎えして白樺の植樹が行われました。

### 【佐久穂教育の推進状況について】

令和6年度全国学力学習状況調査の結果、佐久穂統合小中学校は全国との開きが年々少なくなってきました。長野県並びに当町教育委員会ではその要因について「習熟度別授業、少人数授業が可能になった」や「佐久穂教育の相互作用により、やる気を持って主体的に学ぶ子どもが育成されている」など9点の分析結果を報告しています。

### 【佐久穂町土づくりセンターの改修について】

近年の肥料価格の高騰や地域内で調達できる良質な堆肥のニーズの高まりなどから、第2・第3発酵槽の改修を進めたく今議会に補正予算を計上しました。より多くの方に利用していただくことにより、地域内の循環型農業が更に促進されるものと期待しています。

### 【災害対応について】

9月9日早朝の豪雨により、農業用地や町道が一部被災しました。今議会に災害復旧予算を計上しました。

### 【災害時における福祉避難所及び指定避難所について】

現在、佐久穂町老人保健施設「さやか」と特別養護老人ホーム「佐久穂愛の郷」の2施設を「福祉避難所」としてはいますが、2か所では十分とは言えないことから、新たに8つの施設が加わる見込みとなりました。

### 【町人会について】

現在46名の会員登録があります。10月10日には、ファーストミーティングを茂来館で開催し、参加した14名の会員で意見交換を行いました。今後会員には佐久穂町のPRや、関わりを深める活動をしてもらいます。

### 【町立千曲病院について】

令和6年度に入り常勤の整形外科医が2名着任されたことにより、10月から全身麻酔下における「脊椎内視鏡手術」が開始されました。整形外科外来患者数も月に1000人を超える状況となっています。今後も可能な限り体制整備に努めていきます。

## 令和6年度 12月定例会 採決結果一覧表

採決日令和6年12月18日

| 議 案                                                    | 議員氏名 | 岡部尚樹 | 須田芳明 | 高見澤敏幸 | 竹内達朗 | 高見澤利博 | 佐々木信幸 | 西部元和 | 島崎規子 | 出浦修身 | 高橋康徳 | 高見澤研二 | 小宮山雅則 | 高見澤春野 |
|--------------------------------------------------------|------|------|------|-------|------|-------|-------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| 価格による入札方式における最低制限価格等の引上げと入札方式に偏らない方式における適正価格の設定について陳情書 |      | ×    | ×    | ×     | ×    | ×     | ×     | ×    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×     | ×     |
| 業務報酬基準の準拠と業務内容の明確化について陳情書                              |      | ×    | ×    | ×     | ×    | ×     | ×     | ×    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×     | ×     |
| 建築士事務所賠償責任保険への加入について陳情書                                |      | ×    | ×    | ×     | ×    | ×     | ×     | ×    | ×    | ×    | ×    | ×     | ×     | ×     |

※「○」は賛成、「×」は反対。議長（石井正行）は採決に加わりません。これら以外は全員賛成で可決・採択となりました。

# 一般質問

定例会において、地方議員は自治体の施策に関し、状況や方針などについて、通告をした上で質問をすることができます。このページは各議員の一般質問の、質問と答弁のみの抜粋となります。詳細につきましては佐久穂町議会ホームページにある音声データをご確認ください。



12月定例会一般質問（令和6年12月10・11日）

## 米生産農家に対して喫緊の取組みが必要では

町長「戦略検討チーム会議で2つの方向性が確認されました。」  
高見澤 春野 議員

## 道の駅の経済効果を把握するには

町長「単なる物や金のやり取りだけを見てはならないと思います。」  
佐々木 信幸 議員

## 障がい者差別根絶への視点は

町長「基本理念として、あらゆる差別のない明るく住みやすい佐久穂町を掲げており、人権の町づくり計画も策定されています。」高見澤 利博 議員

## 特定空家等は何軒あるのか

町長「対象はありませんが、管理不全空家の判断基準を加えたマニュアルを検討します。」高見澤 敏幸 議員

## 福祉と健康のつどいの役割は

町長「つどいに約500名来場いただきました。」  
竹内 達朗 議員

## 定住・移住策の最大のネックの住宅不足をどう解消するのか

町長「宅地造成や民間賃貸住宅建設など各種補助制度を今後も延長します。」  
出浦 修身 議員

## 道の駅の総事業費を早急に公開すべきではないか

町長「総事業費は、約30億円の見込みです。」  
須田 芳明 議員



町長 戦略検討チーム会議で2つの方向性が確認されました。  
高見澤 春野 議員



町長 単なる物や金のやり取りだけを見てはならないと思います。  
佐々木 信幸 議員

### 農業を取り巻く課題

**問** 農業を支える体制づくりのその後の動きと青写真はできたのか。

**町長** 令和4年から4年間の第2次総合計画の中で重点戦略「地域に根ざした活力ある産業のまちづくり」において示された方向性を具現化するのが施策としてあり、これを青写真と位置付け、農業振興を進めているところです。

**問** 地域利用計画を令和7年3月までに策定することになっているが、地域でどの程度進んでいるのか。

**町長** 町内を14に分け、一昨年からそれぞれで話し合いを進めています。

**産業振興課長** 現在2集落（佐口、千代里地区）で具体的に進めており、3集落で話し合いの提案を行っています。来年3月までに全地域で策定の説明作業を進めたいと考えています。

**問** 米生産農家には喫緊の取組みが必要。農家・町・JA・農業委員会等と連携し、組織づくり、農地集約、生産コスト削減手法などについての協議の場を早急に立ち上げるべきではないか。

**産業振興課長** 米生産の危機的状況を踏まえ町の農業の方向性を検討すべく、戦略検討チーム会議を7月と9月に開催し、次の2つの方向性が確認されました。  
①地域利用計画の策定を加速化すること。  
②主要な米生産農家による協議の場をつくること。

この2点を踏まえ、来年2月に米生産農家対象に生産コスト削減と脱炭素農業

を目指す栽培方式に関する勉強会の開催を企画しています。

**問** 町の特産品の今後の見直しが心配だが、どのように考えるか。

**産業振興課長** 直売所に今後町内の生産物が並びように生産基盤の強化を考えて行きます。スマート農業の推進は県・JA等関係機関と連携しながら支援を進めたいと考えます。

**問** 役場担当者の増員を考えてはどうか。農業政策に特化した職員の募集は考えていないか。

**産業振興課長** 来年4月採用予定の農業関連の集落支援員を募集します。

### 健康づくり

**問** 40代、50代のフレイルが増えてきているが町の考え、取組みは。

**町長** 働き盛りのフレイルは社会的問題が大きく関わっています。予防の三本柱は栄養、身体活動、社会参加です。

**健康福祉課長** 若い方のフレイル予防は町の集団健診、人間ドックで骨密度検査等をしていただいたり、血液検査で栄養状態を確認し、精密検査や指導が必要な方には個別に運動等について説明させていただいています。合わせて健診の継続と御自分の身体の状態を確認していただくよう指導も重ねて行なっています。

### 観光政策を町内事業者とどう進めるか

**問** 観光政策で道の駅ビジターセンターを拠点にアウトドアアクティビティ事業を南佐久規模の広範囲で展開していくということだが、町内事業者がそれぞれどのような役割を担うのか、意見交換をして政策全体の方向性を共有することは必要ではないか。

**町長** 道の駅開業に向かう忙しさは想像以上でした。アウトドアアクティビティ創生事業を始めるのがやっつとで、意見交換の時間はありませんでした。佐久穂町観光ビジョンの展開や他の事業についてはこれからです。ビジターセンターを核として点から線へ、さらに面に広がる消費の連鎖の創出に努めます。

### 道の駅の町内への経済効果は

**問** 巨額の投資をした道の駅がどれだけの経済効果をもたらしているか、地域内の経済循環を明らかにする「産業連関表」を用いて町内への波及効果を把握することとは行政の責任ではないか。

**町長** 町内に限定した産業連関表を作るのがそもそも有効なのか。関東圏の道の駅と戦えるだけの魅力ある道の駅にする事が大事で、佐久穂町のことだけを考えていてはだめだろうと思います。

### 企業誘致と地元産業の育成について

**問** 企業誘致は必要であるが、進出した

企業が既存の町内事業者と共存していくことが大前提だ。企業誘致の際は企業には活動を通じて地域に貢献することを重要な責務として、町との間で協定を結ぶというような合意形成が必要ではないか。  
**町長** 誘致した企業等が地域の既存の事業者と共存できることは重要です。また誘致にあたっては地域住民との合意形成は重要ですので、地元説明会などの実施は町として指導を行うべきと考えます。  
**産業振興課長** 現行条例の趣旨にのっとり誘致する企業が地域の発展に寄与するものであるか、慎重に検討する事が肝要と考えます。地域貢献に関する協定締結などの事例の情報を持ち合わせているので、今後研究していきます。

### こども計画策定の意義

**問** 令和7年度から始まる予定の新しいこども計画の意義と、その中で子どもたちの声を聞き、計画に反映するところがあるが具体的にどう進めるのか。

**教育長** 令和5年にこども基本法が施行され、こども計画策定は努力義務とされました。町では第2期子ども子育て支援事業計画の満了に伴い、来年度からのこども計画策定の準備を進めています。

**こども課長** こども計画策定に当たり、小学5年生と中学1年生全員と無作為抽出の15、29歳の若者にアンケート調査を実施しました。また審議会メンバーにも学生2名を委嘱しています。



## 障がい者差別根絶への視点は

高見澤 利博



**町長** 基本理念として、あらゆる差別のない明るく住みやすい佐久穂町を掲げており、人権の町づくり計画も策定されています。

### 社会的障壁偏見差別とは

**問** 旧優生保護法の教訓から町の考えは。

**町長** 個人を大切にし、住民一人ひとりが思いやりの心を持ち、人権を擁護し、差別を見抜き、差別を容認しない差別のない町づくりを目指すことです。

**問** 障がい者雇用政策は進んでいるのか。

**町長** 障がい者と共に働くことが当たり前の社会を目指し、佐久穂町障がい者活躍推進計画を策定し、障がい者の活躍を推進する体制整備に努めているところです。

**総務課長** 障がい者である職員の活躍のために町の体制整備を図るとともに、今後障がい者である職員の更なる採用活動の推進も必要と考えています。

## 認知症の人の尊厳ある暮らしを守る上で

**問** ケア技法ユマニチユード（人間らしさを取り戻すとの意味を持つフランス語）の普及について。

**町長** 現在当町において65歳以上の要介護認定を受けている割合は約17%で、その中で認知症を患っている人は約61・8%。本人はもとより、介護者の負担軽減を図るために、地域全体で取り組む必要があると考えます。

**千曲病院事務長** ユマニチユードとは相手のことを大切に思っていることを伝えることが本質と言われています。医療・看護・介護の現場では当然のことを行うことが、ユマニチユードに値すると考えます。

## 自転車の交通ルール改正に伴って

**問** 自転車安全講習会の開催を強化すべきでは。

**教育長** 自転車のながら運転の罰則が強化されました。小中学校では毎年5月に学校で交通安全教室を実施しており、実際の歩行や自転車の乗り方など、交



交通安全教室

通安全教育センターの職員からの指導をいただいています。今後は実施している安全教室に、改正された内容を追加し、行っています。

### 書かない窓口について

**問** フロントヤード改革の推進は。

**町長** 今後町が進めて行かなければならない事業です。現在町では、DX化を推進する担当課を中心にウェブ申請の導入を試みており、公式LINEの申請メニューからも児童手当や介護等29種類の申請が可能となっています。目に見えた形での取り組みを検討する中で、先行して整備を行った自治体へも担当職員等を視察させていますが、報告によると、構想された実務の状況が期待されたほどではないと聞いています。

## 特定空家等は何軒あるのか



高見澤 敏幸

**町長** 対象はありませんが、管理不全空家の判断基準を加えたマニュアルを検討します。

### 特定空家等の取り組みについて

**問** 町内で特定空家等は何軒あるのか。

**町長** 特定空家として指定されている建物はありますが、法の改正により管理不全空家の判断基準を設ける必要がありますので、新たな基準を加えたマニュアルの検討を行います。

**問** 栄橋界隈の建物についての取り組みは。

**町長** 栄橋界隈の空家については、承知しています。長野県や関係機関等とも相談しながら、解決策の模索を繰り返していますが、とても困難な状況にあります。

**問** 佐久穂町空家等対策計画の今後の予定は。

**総合政策課長** 来年度は業者委託による同一観点での町全体の実態把握調査を予定しています。計画見直しの時期は、今年度中に行うか実態把握調査の結果を踏まえるか検討をしています。

### 無形文化財の発掘について

**問** 町内に継承されている無形文化財ではないが、それに近いと思われる文化・行事・風習などについて、調査・把握をされているのか。

**生涯学習課長** 無形文化財は古くから伝わる伝統芸能・伝統工芸の技術などが対象となりますが、佐久穂町には該当がある伝行事などを持継し、振興を図ることは大切なことで、各分館で行

## 福祉と健康のつどいの役割は



竹内 達朗

**町長** つどいに約500名来場いただきました。

### キャッシュレス決済の進捗状況は

**問** 自治体DXの一環として会計トラブルの解消や住民の利便性向上のため、キャッシュレス決済が進められているが進捗状況と今後の方向性は。

**町長** 令和5年度から、町税の納税通知書及び納付書等に地方統一QRコードを導入し、地方税のキャッシュレス納付を可能にしています。

**住民税務課長** 地方自治法等の一部改正で、指定納付受託者制度が導入されたことに伴い、POSレジの利用を検討しています。導入になれば、金銭の受払の他、クレジットカードなどが役場窓口等で利用可能となる見込みです。

### 私費会計のトラブル対策は

**問** 学校等では現金の授受を伴う私費会計があると認識しているが、トラブル等を防止するためにどのような対策を講じているか。徴収金未納にはどのように対応しているか。

**教育長** 学校には、私費会計として給食会計、学年費、旅行積立、PTA会費の4つの会計があります。会計ごとに通帳で管理し、現金での徴収は原則行わないことにしています。収支については複数の職員が担当しています。

**こども課長** 納入は口座振替とし、通常毎月5日の振替としています。未納の場合、事務職員が電話でお願いしています。



福祉と健康のつどい

で実施を予定しています。



## 定住・移住策の最大のネックの 住宅不足をどう解消するのか



**町長** 宅地造成や民間賃貸住宅建設など各種補助制度を今後も延長します。

出浦 修身

**問** 持続可能なまちづくりに向け、第二次総合計画で各種施策を実施しており、方向性に問題はないが、問題はスピードだ。地域リーダーの育成などコミュニティ活動の強化施策は進んでいるのか。

**町長** 町では中山間地域農業直接支払い交付金や多面的機能支払交付金、道水路普請への資材提供、地区要望など、地域コミ

ュニティの協働活動への支援に注力してきました。しかし少子高齢化の中で自助共助の地域力は低下しており、町は可能な限り優先順位を付けながらコミュニティ支援を柔軟に進めます。

**問** 区長への研修を、区三役や常会長まで拡大できないか。  
**総務課長** 区長会とも相談し、研修できるかどうか検討したいと思っています。

定住・移住策の最大のネックの住宅不足をどう解消するか

**問** 平成31年4月からの5年間の平均人口減少数は、年約130人とその前の5年間より減少している。主因は教育移住の増と思われるが、住宅不足がネックだ。町ではどう解消するか。

**町長** 町では空き家バンクでの物件紹介の他、宅地造成支援補助金など各種補助制度を実施し、効果も始めており、期間の延長ができればと思っています。

**問** 住宅不足のため、多くの教育移住希望者を取り込めていない。空き家バンクの物件を増やすべく、家財整理補助20万円を30、40万円、改修補助50万円を100、150万円への拡大など、思い切った住宅政策を検討できないか。

**総合政策課長** 財源の問題もあり、ここでごうしますとは言えません。

**町長** (来年は選挙の年であり)この時期での発言は差し控えます。

**農業振興策や商工業の振興でも思い切った振興策を推進すべきでは**

**問** 特産品を更に増産するためにも、新規就農者の募集状況や担い手環境の取り組み状況はどうなっているか。

**産業振興課長** 今年も就農体験と地域おこし協力隊の募集をホームページで行い、2名の酪農の就農体験が予定されています。

**町長** 現時点の発言は控えませんが、人材確保は相当先を見つめて実施すべきで、更なる町の活性化は医療・福祉・教育など社会保障給付型に向かっていきます。



## 道の駅の総事業費を早急に 公開すべきではないか



**町長** 総事業費は、約30億円の見込みです。

須田 芳明

**活力ある行政運営について**

**問** 防犯カメラ設置後の職場環境が大切ではないか。

**町長** 設置台数は、本庁舎18台、北庁舎6台で6月から運用しています。

運用状況は条例、施行規則に従って厳密に管理運用しています。

これまでに来庁者及び職員から苦情やご意見、ご要望は届いていません。

**問** 職場環境の中で一番大事である人的セキュリティ対策は。

**総務課長** 佐久穂町セキュリティポリシーを策定し、意識の高揚に努めています。

**問** 苦情対応、重要な相談など町民の皆さんから求められた時の対応は。

**総務課長** 相談については、各課、係において丁寧に、また親身に対応するよう心がけています。

**問** 町づくりに意見や希望を持っている職場の若者の意見を施策に活かす工夫と組織運営は。

**町長** 仕事に対する適性や意向などを個別に確認し、自ら取り組みたい業務を申告する仕組みがあります。

**新たなまちづくりの運営について**

**問** 行政運営における民間活用とは。

**町長** 民間活力の検討の考えは、町村合併後の課題、消える5億円の中で始まったと認識しています。一つの手法として民間活力を可能な限り活用し、適切な役割分担を模索しながら、佐久穂町という場の価値を高めていくしか方法は

ないと考えています。

**問** 道の駅ビクターセンターの運営形態は。

**産業振興課長** 指定管理者アドバンス(株)に運営を委託しています。町からは、スタッフの人件費を運営経費としてお支払いし、地域の情報発信、観光PRに関する事業を担っていただいています。

**問** 町内事業者の参入を推進したいという気持ちはあるのか。

**町長** スキー場とキャンプ場を町内事業者が運営するという意味で、民間事業者にお願いするときそれが可能になればと考えました。

**問** 道の駅事業特別委員会で総事業費などの資料請求をしている。これらの内容が確定すれば、今後住民の皆さんに早急に公開していただきたいが。

**町長** 事業費は、約30億円の見込みです。国の交付金が5億1千万円ぐらい、借入金12億円ぐらいです。確定後に公開します。

**問** 奥村土牛記念美術館の運用と周知について、研修室の利用計画とイベント周知をしっかりとすべきではないか。

また今後、文化芸術などの部署は、文化事業団による運営が必要になるのではないか。

**教育長** 美術館協議会の中で協議したうえで決定していくことが望ましいと思います。

**生涯学習課長** 建物自体が有形文化財であるので、利用方法については慎重に検討したいと思っています。

## 12月定例会 一般質問傍聴

約30名

【インタビュー】



質問に対して答弁がかみ合わないように感じた。

初めて議会のような感じが良かったです。

傍聴が前よりたくさん増えて驚いた。

若者が地元に戻ってこないのではと心配だ。







# 委員会活動から ～委員会審査～

## ■経済福祉常任委員会

条例案1件、補正予算案4件、陳情4件が付託され、議案5件は全員賛成で原案通り可決すべきものと決しました。また、陳情3件は不採択、陳情1件は継続審査となりました。

### 建設課

- 問** アスベスト除去補助金が減額されているが、町内に対象施設はなくなったということか。
- 答** 調査の結果、売却をした旧佐久西小学校にアスベストがあることが確認され、今年度除去する予定になっていましたが、売却先の都合により来年度実施としました。
- 問** 補助金の見直し施策により、雁明団地が3区画販売できたが、残り8区画に対してのPR広告はどの様に行っているのか。
- 答** 町のホームページ等を通じて広報をしています。
- 問** もっと幅広く広報活動を行っていくべきではないのか。
- 答** 対応していきます。

### 産業振興課

- 問** 土づくりセンターの改善した堆肥は大変質の良いものができているとのことだが、これをどの位の単価で販売していくのか。
- 答** 現在は軽トラック1台分3300円で売っていますが、かなり手間のかかる作業です。だからと言って高すぎると農家さんに買っていただけなくなるので、有機生産組合と一緒にこれから価格の検討をしていきます。
- 問** 土づくりセンターの建物は町のものであり、修理も町で行っている。今、JAが窓口となっているが、今後のお金の流れと建物の管理はどうなるのか。
- 答** 会計については、JAが窓口ですが、八千穂有機生産組合が堆肥の製造販売を行っており、収入は現在全て有機生産組合に入っています。今後の、建物や維持管理メンテナンスについては、有機生産組合が原則管理・維持をしていきます。

### 健康福祉課

- 問** 障がい者支援事業の中の日常生活用具扶助費と補装具の内訳は。
- 答** 日常生活用具の扶助については、日常用具や新規に障がい者用介助ベッド・住宅改修費になっています。補装具の扶助費については、新規に車イス1台及び修理代4件・義足・子ども用の姿勢保持装置2台分です。
- 問** 障がい者支援の扶助や補助金についての限度額制限はあるのか。
- 答** 義足や車イス上の基準額はありますが、特殊なものについては見積もり額が基準になります。補助については、申請者が1割負担となっています。
- 問** 社会総務費で臨時特別交付金が660万円も減額になっているがその理由は。
- 答** 臨時特別交付金は令和6年度新たに非課税世帯を対象に10万円給付する事業です。当初の見込みでは220名見込んでいたのですが、申請者が、185名に留まり660万円の減額となりました。

### 千曲病院

- 問** 休職者・派遣職員・育児休業者・療養休暇者を定数除外職員として欠員状態を解消するとしているが、現状の状態は。
- 答** 今日現在で、育児休業3名、療養休暇1名で派遣職員はいません。
- 問** きんしかん筋弛緩モジュールとあるが、麻酔科の医師はどこから派遣をしていただいているのか。また手術の実績は。
- 答** 毎月の第2、第4木曜日に山梨大学麻酔科医局の松川教授に来ていただいています。手術は10月に1件、11月に2件、12月が1件で、今後は徐々に増やして行ければと思っています。

## ■総務文教常任委員会

承認案1件、条例案2件、補正予算案1件が付託され3件を全員賛成で原案通り、条例案1件を賛成多数で承認・可決すべきものと決しました。

### こども課

- 問** 小中学校の高輝度プロジェクターの導入内容は。
- 答** ふるさと応援寄付金を財源として、1台購入します。中学校で管理し、小中学校共用で使います。
- 問** 保育園の男性施設管理等職員は各園に採用の見込みなのか。
- 答** 3園で1名の採用です。1名の職員に3つの園を回っていただきます。

### 総務課

- 問** 衆議院議員総選挙の経費は全額、国からの補助ではないのか。
- 答** 備品購入費（投票用紙の読み取り機）は9分の5の補助で、差額を一般財源で負担しています。
- 問** 町長車リース料減額について説明を。
- 答** 予定していた車種の納入が年度内に間に合わないで減額しました。
- 問** 包括委託の債務負担行為補正で、契約内容を柔軟に見直すことはあるのか。
- 答** 基本5年の契約ですが年度ごとでの変更もあります。またこどもセンターのように途中で業務委託先が変更となることもあります。

### 住民税務課

- 問** 振り仮名法改正に伴う通知書作成業務を債務負担行為補正とする理由は。
- 答** 来年5月に施行になるので、事前に業者を選定する必要があることから、債務負担行為を計上しました。

### 生涯学習課

- 問** 栄橋のチラシを補正を組んでまで早急に作成する必要性は。
- 答** 栄橋が11月12日に国の有形文化財に登録するよう答申されました。この機運の高まりを逸しないうちに町内外に広く周知するためです。



重要文化財栄橋

### 総合政策課

- 問** ふるさと納税業務を債務負担行為補正とする理由は。
- 答** 来年度からふるさと納税業務のノウハウをもった専門の業者に外部委託を予定しています。準備を今年度中に行うために債務負担行為をお願いするものです。
- 問** 企画財政費の委託料減額の理由は。
- 答** 「地球温暖化防止実行計画（区域施策編）」についてコンサルへの委託を含めて、外部委託から町政策アドバイザーの業務へと変更したためです。
- 問** 町人会事務局の組織について。
- 答** 町人会の事務局は総合政策課が担当ですが、全庁から事務局員を募集し横断的に組織しています。



## 議案第64号

佐久穂町議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

### 令和3年～5年

議会改革特別委員会内に「報酬見直しチーム」が結成され調査・研究を始める。

- ・議会の在り方の検討から始め、県内・近隣の市町村を中心に実態調査を実施
- ・議員の活動時間を調査算出
- ・町長・町職員の報酬との比較検討
- ・議会だより第74号に研究結果を掲載
- ・全国平均並みの報酬アップを提言
- ・意見交換会で報酬に関する分科会にて参加者の意見を収集

### 令和6年

**9月10日** 議長・議会改革特別委員長が調査・研究結果を報告し、特別職報酬等審議会への諮問を要請する。

**10月29日** 町長が佐久穂町特別報酬等審議会に議員報酬額について諮問をする。

#### 【佐久穂町特別職報酬等審議会での意見】

- ・若者が立候補できるよう報酬額に差をつけた方がよい
- ・報酬を合併から20年近く上げなかったのは何故か
- ・議員の兼業状況について知りたい
- ・議員報酬が低いと町が衰退する恐れがある

佐久穂町特別職報酬等審議会より「20年近く金額が変わっていないこと、物価高騰や議員のなり手不足への対応」として以下のような答申が出される。

**議長の月額報酬** 275,000円 → 308,000円

**副議長の月額報酬** 210,000円 → 243,000円

**常任委員会委員長・議会運営委員長の月額報酬**

189,000円 → 228,000円

**議員の月額報酬** 185,000円 → 218,000円

**12月定例会** 議案第64号が町長より上程。

【佐久穂町議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例】

**12月18日** 本会議において賛成多数で可決。

## 道の駅事業特別委員会報告

10:59

99%

### 道の駅八千穂高原について

**Q** 道の駅事業にどのくらいのお金を使ったの？



**A** 現状ではおよそ30億円です。  
主な内訳は、財産管理の経費で約1億8千万円、道の駅整備事業で約28億4千万円です。

**Q** 財源は？



**A** 国の交付金が約5億1千万円、借入金が約12億円、町の基金が約10億6千万円です。

**Q** どんな施設があるの？



**A** 1階には直売所とレストラン、コンビニエンスストアがあります。2階は交流広場になっています。緊急時の災害避難所にもなります。  
その他にも、カフェ併用のビジターセンター、アウトドアメーカーモンベルの店舗、トイレ施設、ドッグランなど、いろいろな施設があります。

**Q** オープン後の現状は



**A** 開業1か月ほどで11万人の来場者があったそうです。

※11/8付道の駅事業特別委員会の依頼を受け、町から提供された資料に基づいて掲載しています。

### 道の駅事業特別委員会について

**Q** 道の駅事業特別委員会の今までの活動は？



**A** 町や商工会など関係団体との意見交換、情報交換会を行いました。  
委員会では10回の検討会を開催。道の駅視察も2年にわたり実施しました。

**Q** 道の駅事業特別委員会のこれからの活動は？



**A** 佐久穂町の一大事業である道の駅、かわまちづくり事業の計画を見守り、町の活性化につながる活動を続けていきたいと思えます。

## 令和6年度 12月定例会 採決結果一覧表 採決日令和6年12月18日

| 議 案                                | 議員氏名 | 岡部尚樹 | 須田芳明 | 高見澤敏幸 | 竹内達朗 | 高見澤利博 | 佐々木信幸 | 西部元和 | 島崎規子 | 出浦修身 | 高橋康徳 | 高見澤研二 | 小宮山雅則 | 高見澤春野 |
|------------------------------------|------|------|------|-------|------|-------|-------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| 佐久穂町議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例 |      | ×    | ×    | ○     | ○    | ○     | ○     | ○    | ○    | ○    | ×    | ×     | ○     | ○     |

※「○」は賛成、「×」は反対。議長（石井正行）は採決に加わりません。これら以外は全員賛成で可決・採択となりました。



## 10月23日(水) 2024ROUTE日本海-太平洋促進大会

2024ROUTE日本海-太平洋促進大会に参加しました。

中部横断自動車道の未開通区間において地域が一体となりその必要性を広く発信し、より一層機運を高めるための「2024ROUTE日本海-太平洋促進大会」が10月23日(水)に小海町のシャトーキングダム小海で開催され関係議員が参加しました。



## 10月24日(木) 群馬県上野村議会交流

群馬県上野村で視察研修を行いました。

10月24日(木)に群馬県上野村を訪問し、「村立健康増進施設」「川の駅上野(上野村ふれあい館)」「上野村森の体験館(上野村産業情報センター)」などを視察しました。また上野村議会との意見交換会を開催しました。



## 11月10日(日) 北沢の大石棒レプリカ建立式典

北沢の大石棒レプリカ建立式典が開催されました。

佐久穂町の指定文化財である「北沢の大石棒」のレプリカが完成し、石棒が立っていた現地に建立されたことに伴い、11月10日(日)に現地で記念式典が開催され、関係する議員が参加しました。



### あなたの声を聞かせて!

What's 地方議会? (次ページに案内記載) の参加申し込みにご利用ください。

令和7年2月9日(日)に開催予定の「What's 地方議会?」に参加を希望される方は、左の添付ハガキを参加申込書としてご利用になります。(参加には参加予約が必要です) また、通常のように、ご意見・ご要望もお寄せいただきたいと思います。切り取ってそのまま投函できますので、ぜひご利用ください。

また、従来どおり、議会事務局(0267-86-2556)へお電話いただくか、Eメール(gikai@town.sakuho.nagano.jp)でもご意見・ご要望を受け付けております。町民交流会の依頼などもお気軽にお問い合わせください。

キリッン

### 「What's地方議会?」参加申込書

下記の差出人欄にご記入ください(2月5日締め切り)

| 氏名  |  |
|-----|--|
| 連絡先 |  |

ご意見・ご要望を自由にご記入ください。

議会だよりへ掲載許可

議会だよりに掲載してもかまいません Yes・No  
(無記名で掲載しますが、掲載にあたっては許可を頂く関係から氏名・連絡先を御記入ください)

| 差出人(必須ではありません) |    |
|----------------|----|
| 氏名             | 年代 |
| 連絡先            |    |
| Eメール           |    |

個人情報の取り扱い: ご記入いただいた個人情報は、上記の利用目的のみに使用し、それ以外の用途には利用いたしません。



# 議会追体験！クイズで知る備える

議会ってどんな仕事をするの？

投票や立候補はどうやるの？

どんな応援ができるの？

誰でも議員になれるの？

地方選挙や地方議会に興味のある方  
佐久穂議会について詳しく知りたい方  
選挙権について知りたい高校生  
地方政治について学習したい小中学生  
奮ってご参加ください。

予約締め切り：2月5日

参加には事前予約が必要です。下の【ご意見はがき】か  
【電話 0267-86-2556】にてお申し込みください。

# What's

2月9日(日) 10:00~11:20

2025年

in 茂来館

# 地方議会？

## ◆編集後記◆

私は最近本をよく読むようになりました。特に自叙伝などをよく読んでいます。それらの本から、政治家としての心構えをはじめとして、今までの視点とは違う視点から、色々なことを学ぶようになりました。

本などは特にそうですが、人に伝えるための言葉というものは、とても難しいものだと思います。時代ごとにニュアンスが違ったりもしているの、あやふやな言葉や新しい言葉などは、そのニュアンスも含めて、できるだけ調べるようにしています。そうすると、更に言葉が増えていって、少しづつではありますが自分が広がっていくような気がしています。

任期4年のうち、後半2年間は広報特別委員として議会だよりの作成に関わってきました。誰が読んでもわかりやすい文章を心がけてきましたが、言葉選びが難しく、満足のいく編集ができた気はしていません。それこそ、本を書いている著者から、そういった言葉選びも学ばなければならぬと感じている今日このごろです。

人生一生勉強です。今後とも、議会だよりに少しでも目を通していただける方々を意識した議会だより作成ができればと思っています。

広報特別委員会 岡部尚樹

3月定例会のお知らせ

3月6日(木)から

3月19日(水)を

予定しています。

(受取人)

長野県南佐久郡

佐久穂町高野町569

佐久穂町議会事務局 行

3858790

郵便はがき

料金受取人払郵便

佐久局承認

4155

差出有効期間

2027年1月24日まで

(切手不要)

